

21. 生徒の成績を説明する

001A : コンニチワー。センセ Xノハハデゴザイマスー。
こんにちは。先生 Xの母でございます。

002B : アー ドーモ イツモネー。
あー どうも いつもね。

003A : オセワサマデゴザイマスー。センセー アノ、キョーワ
お世話さまでございます。先生 あの、今日は

ムスコノシンガグノコトデ (B ウン) オキキシタイトオモッテ
息子の進学のこと (B うん) お聞きしたいと思って

キタンダケントモ。
来たのだけれども。

004B : ハーハーハハー。ウーン。アノー イジガッキノツーシンショー
は一は一は一。うーん。あの 一学期の通信票

ミセデモラッタ。
見せてもらった。

005A : ハイ。
はい。

006B : ホー。ドンナアンベダッタ。
ほう。どんな具合だった。

007A : ス ウーン ワダシモ ヨク ホラ ソノー ワガンナインダゲントモ
× うーん 私も よく ほら その わからないんだけど

チョット サガッテッカナードワ オモッテタンデスー。
ちょっと 下がっているかなあとは 思っていたんです。

008B : ウーン。コノママデッサー、ウーン チョットー アノー
うーん。 このままではさ、 うーん ちょっと あの

メザシテルーッテユーダイガグ ムズガシーガモシンナエナー。
目指しているっていう大学[は] 難しいかもしれないなあ。

009A : ハー ヤッパリネ二。
はー やっぱりね。

010B : ウーン。
うーん。

011A : コレガラー コー セーセキー アガルツツガ アノー
これから こう 成績 上がるっていうか あの

ベンキョーノホーホードガ センサー モシー アトバイス アッター
勉強の方法とか 先生 もし アドバイス あったら

ヒトズガフタツター オシエデケンデモラウド アリガタイトオモッテー。
一つか二つ 教え×××でもらうと ありがたいと思って。

012B : ウーン。ダイズー ホンニンガ ドノヨーヌ カンガエデンダガナ。
うーん。第一 本人が どのように 考えているんだかな。

013A : ソゴナンデスケドネ センセ。
そこなんですけどね 先生。

014B : ウーン。イッカイー オトーサンモ フグメデー カゾグデ カタッデミダラ。
うーん。一回 お父さんも 含めて 家族で 話してみたら。

015A : ソーデスカネー。
そうですかね。

016B : ウーン。 (A ハイ) ヤーッパリー ホンニンノー マズ イジバンガー
うーん。 (A はい) やっぱり 本人の まず 一番が

ネー [1]。マワリデ ナンボ サワイデモ一、ホンニンシダイーダガラ。
ねえ。 周りで いくら 騒いでも、 本人次第だから。

017A : ンダースネ一。
そうですね。

018B : ウン。 ドンナモクヒョ一 ツグッ タデデインダガー。
うん。 どんな目標 ××× 立てているんだか。

019A : ハイ。
はい。

020B : ウン。ジブンノ一 ネ一 (A ハイ) ヤリダイノワー ドーナノガー。
うーん。自分の ねえ (A はい) やりたいのは どうなのか。

ソノヒン一 (A ウン) ヨグ ハナシアッテガラー マダ コーヤッテ
そのへん (A うーん) よく 話し合ってから また こうやって

ハナシタラー。
話したら。

021A : ンダ一ネ一。 ンデ ム マダ スコシ マ アノ ジカンモ
そうだね。 それで[は] × まだ 少し × あの 時間も

アッコッダガラー、ガンバルヨ一ニワ サセッケント センセ一 ヨロシク
あることだから、 頑張るようには させるけれど 先生 よろしく

ドーゾ オネガイシマス一。
どうぞ お願いします。

022B : ハイ。ワダシドンモネ一 シンパイワ シテイッカラッサ。
はい。私どももね 心配は しているからさ。

023A : ハイ。
はい。

024B：ハイ。

はい。

[1] ヤーッパリー ホンニンノー マズ イジバンガー ネー

016Bの発話全体から考えると、「やはり本人の意志が一番大事である（ため、周りがいくら騒いでも仕方ない）」という意味で発話したと推察される。